製品安全データシート

販売者情報 会社 LECO ジャパン合同会社

> 住所 〒105-0014

> > 東京都港区芝2丁目13番4号

住友不動産芝ビル4号館

担当 MSDS 担当者

(03) 6891-5801 電話番号 FAX 番号 (03) 6891-5800

LECO Corporation 製造者情報 会社

> 3000 Lakeview 住所

St. Joseph, Michigan 49085, U.S.A.

作成: 平成 13 年 9 月 10 日 整理番号 00660

改訂: 平成 24 年 6 月 18 日

製品名(化学名、商品名等) Steel Calibration Sample Standard Reference Material スチール キャリブレーション サンプル スタンダード リファレンス マテリアル

^	ナールキャリ	プレーション サ	ンプル スタン	/ダード リフ	アレンスマ	アリアル
物質の特定						
単一製品・混合物の区	混合物					
別						
化学名	鉄	カーボンブラック	マンガン	シリコン	硫黄	スズ
成分及び含有量(wt%)	95-99	0.01-1.0	0.25 - 1.65	< 0.5	< 0.5	<1.0
化学式又は構造式	Fe	C	Mn	Si	S	Sn
官報公示整理番号						
化審法						
安衛法	対象外*	対象外*	*	対象外*	対象外	対象外*
(*印適用法令参照)						
PRTR 法	対象外	対象外	対象物	対象外	対象外	対象外
			(第1種412)			
CAS No.	7439-89-6	7440-44-0	7439-96-5	7440-21-3	7704-34-9	7440-31-5
国連分類及び国連番号	1383	1361	3208	1346	1350	

危険有害性の分類

GHS 分類

[カーボンブラック]

物理化学的危険性 健康に対する有害性 火薬類 分類対象外 急性毒性(経口) 区分外	
可燃性・引火性ガス 分類対象外 急性毒性(経皮) 分類できな	こしい
可燃性・引火性エアゾー分類対象外急性毒性(吸入:ガス) 分類対象	外
<i>μ</i>	
支燃性・酸化性ガス 分類対象外 急性毒性(吸入:蒸気) 分類できな	いい
高圧ガス 分類対象外 急性毒性(吸入:粉じん) 分類できな	いい
引火性液体 分類対象外 急性毒性(吸入:ミスト) 分類対象	外
可燃性固体 分類できない 皮膚腐食性・刺激性 区分外	
自己反応性化学品 分類対象外 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 区分外	
自然発火性液体 分類対象外 呼吸器感作性 分類できな	よい
自然発火性固体 区分外 皮膚感作性 分類できな	こし
自己発熱性化学品 区分 1-2 (動植生殖細胞変異原性 分類できな	こい
物系原料)、	
分類 できない	
(鉱物系原料)	
水反応可燃性化学品 分類対象外 発がん性 区分 2	
酸化性液体 分類対象外 生殖毒性 分類できな	いに
酸化性固体 分類対象外 特定標的臓器・全身毒性 分類できな	こい
(単回ばく露)	
有機過酸化物 分類対象外 特定標的臓器·全身毒性 区分 1 (肺	j)
(反復ばく露)	
金属腐食性物質 分類できない 吸引性呼吸器有害性 分類できな	こしい
環境に対する有害性	
水生環境急性有害性区分外	
水生環境慢性有害性分類できな	よい



注意喚起語:	危 険
危険有害性情報:	自己発熱・火災のおそれ
	発がんのおそれの疑い
	長期にわたる、または、反復ばく露により肺の障害
注意書き:	【安全対策】
	涼しい所に置き、日光を避けること。
	適切な保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
	使用前に取扱説明書を入手すること。
	すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
	適切な個人用保護具を使用すること。
	粉じん、ヒューム、蒸 気、スプレーを吸 入しないこと。
	取扱い後はよく手を洗うこと。
	この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
	【応 急 措 置 】
	ばく露またはばく露の懸念がある場合、医師の診断、手当
	てを受けること。
	気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
	【保管】
	積 荷 とパレット間 にすきまをあけること。
	適切な量以上の大量品は、指定する温度を超えない温度
	で保管すること。
	他 の物 質 から離して保 管 すること。
	施 錠して保 管 すること。
	【廃棄】
	内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃
	棄物処理業者に業務委託すること。

[マンガン]

物理化学的危険性		健康に対する有害性	
火薬類	分類対象外	急性毒性(経口)	区分外
可燃性・引火性ガス	分類対象外	急性毒性(経皮)	分 類 できない
可燃性・引火性エアゾー	分類対象外	急 性 毒 性 (吸 入 : ガス)	分類対象外
ル			
支燃性・酸化性ガス	分類対象外	急 性 毒 性 (吸 入 : 蒸 気)	分 類 できない

	1		
高圧ガス	分類対象外	急性毒性(吸入:粉じん)	分 類 できない
引火性液体	分 類 できない	急 性 毒 性 (吸 入 : ミスト)	分類対象外
可燃性固体	分類対象外	皮膚腐食性・刺激性	区分 3
自己反応性化学品	分 類 できない	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分 2B
自然発火性液体	分 類 できない	呼 吸 器 感 作 性	分 類 できない
自然発火性固体	分 類 できない	皮膚感作性	分 類 できない
自己発熱性化学品	分類対象外	生殖細胞変異原性	分 類 できない
水反応可燃性化学品	分類対象外	発 がん性	区分外
酸化性液体	分類対象外	生殖毒性	区分 1B
酸化性固体	分類対象外	特 定 標 的 臓 器 · 全 身 毒 性	区分 1(呼吸器)
		(単回ばく露)	
有機過酸化物	分 類 できない	特 定 標 的 臓 器 · 全 身 毒 性	区分 1(神経系、
		(反復ばく露)	呼吸器)
金属腐食性物質	分類対象外	吸 引 性 呼 吸 器 有 害 性	分 類 できない
		環境に対する有害性	
		水生環境急性有害性	分 類 できない
		水生環境慢性有害性	区分 4

シンボル	
注意喚起語:	危険
危 険 有 害 性 情 報:	軽度の皮膚刺激
	眼刺激
	生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
	呼吸器の障害
	長期又は反復ばく露による神経系、呼吸器の障害
	長期的影響により水生生物に有害のおそれ
注意書き:	【安全対策】
	使用前に取扱説明書を入手すること。
	すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
	必要に応じて個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露
	を避けること。

T
粉じん、ヒュームを吸入しないこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
環 境 への放 出 を避 けること。
【応急措置】
皮膚に付着した場合、皮膚刺激が生じた場合、医師の診
 断、手 当 てを求 めること。
取り扱い後はよく手を洗うこと。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コン
タクトレンズを着 用していて容 易に外 せる場 合 は外 すこと。
その後も洗浄を続けること。
眼に入った場合、眼の刺激が持続する場合は医師の診
断、手当てを受けること。
ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受
けること。
気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。
【保管】
施錠して保管すること。
心 戦 し し 床 官 す ること。
内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の
廃棄物処理業者に業務を委託すること。

[スズ]

物理化学的危険性		健康に対する有害性	
火薬類	分類対象外	急 性 毒 性 (経 口)	分 類 できない
可燃性・引火性ガス	分類対象外	急 性 毒 性 (経 皮)	分類 できない
可燃性・引火性エアゾー	分類対象外	急 性 毒 性 (吸 入 : ガス)	分類対象外
ル			
支燃性・酸化性ガス	分類対象外	急性毒性(吸入:蒸気)	分類 できない
高 圧 ガス	分 類 対 象 外	急 性 毒 性 (吸 入:粉じん)	分 類 できない
引火性液体	分 類 対 象 外	急 性 毒 性 (吸 入 : ミスト)	分類対象外
可燃性固体	分 類 できない	皮 膚 腐 食 性・刺 激 性	分類 できない
自己反応性化学品	分 類 対 象 外	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	分 類 できない
自然発火性液体	分類対象外	呼吸器感作性	分類 できない
自然発火性固体	分 類 できない	皮膚感作性	分 類 できない

自己発熱性化学品	分 類 できない	生 殖 細 胞 変 異 原 性	分 類 できない
水反応可燃性化学品	分 類 できない	発 がん性	分類できない
酸化性液体	分類対象外	生 殖 毒 性	分 類 できない
酸化性固体	分類対象外	特 定 標 的 臓 器 · 全 身 毒 性	分 類 できない
		(単回ばく露)	
有機過酸化物	分類対象外	特 定 標 的 臓 器 • 全 身 毒 性	区分 1(肺)
		(反復ばく露)	
金属腐食性物質	分 類 できない	吸 引 性 呼 吸 器 有 害 性	分 類 できない
		環境に対する有害性	
		水生環境急性有害性	分 類 できない
		水生環境慢性有害性	分類できない

シンボル	
注意喚起語:	危険
危 険 有 害 性 情 報 :	長期にわたる、または反復ばく露により肺の障害
注意書き:	【安全対策】
	粉じん、ヒューム、蒸 気、スプレーを吸 入しないこと。
	取扱い後はよく手を洗うこと。
	この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
	【応急措置】
	気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
	【廃棄】
	内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃
	棄物処理業者に業務委託すること。

*GHS 分類について 鉄は分類対象外または区分外です。混合物としての GHS 分類が実施中のため含有量が 0.5%以下のシリコン、硫黄以外の物質についてそれぞれの GHS 分類を記載しています。

応急措置 (粉塵)

目に入った場合 直ちに多量の水で 15 分間以上十分洗眼し、必要あれば眼科医の診察を受ける。

皮膚に付着した場合 水と石鹸でよく洗い落とす。

吸入した場合空気の新鮮な場所に移動し、必要に応じて医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合 入手不可

火災時の措置

消火方法 : 不燃性

消火剤 : 周辺の火災状況により適切な消火剤を使用する。

漏出時の措置

粉塵が発生した場合は適切な保護具着用の上、漏洩箇所をシールし、工業用バキューム等で回収する。

取扱い及び保管上の注意

取扱い: 粉塵の発生を防ぐ。

保管:冷乾燥場所に密閉して保管する。

混触の危険性のある物質と離して保管する。

暴露防止措置

許容濃度

酸化第二鉄として カーボンブ マンガン シリコン 二酸化硫黄 スズ

ラックとして

 $ACGIH(TLV-TWA)(mg/m^3)$ 3.5 5 10 5 2

 $5 (7 2 - 4) \qquad (1 - 2 2) \qquad (2 - 4)$

スト) スト)

粉塵に対して

設備対策 局所排気装置を設置する。

保護具 防塵マスク、ゴーグル型保護眼鏡、ゴム手袋、長袖の作業着。

物理/化学的性質

外観 : 灰色又は黒色の金属

沸点
融点
三 1538℃
蒸気圧
三 入手不可溶解度
三 不溶性
比重
三 7

pH : 入手不可

匂い : なし揮発性 : なし

危険性情報

化学的安定性 : 安定

混触等 : アルミニウム、酸化エチレン、N2H4, 塩素酸カルシウム

可燃性 : 不燃性 有害分解生成物 : 金属煙 危険重合物質 : なし

有害性情報

刺激性:眼、皮膚、咽喉に炎症を起こす。

環境影響情報

分解性: 知見なし 蓄積性: 知見なし 魚毒性: 知見なし

廃棄上の注意

廃棄にあたっては国、地方の関連法規制を遵守するが、金属スクラップとして認可を受けた産業 廃棄物処理業者に委託することが望ましい。

輸送上の注意

運搬に際しては容器に漏れのないことを確認する。転倒、落下、損傷がないように積み込み、 荷崩れの防止を確実に行う。その他法令の定めるところに従う。

輸送に関する法令に従う。

適用法令

[鉄]

金属粉は労働安全衛生法 危険物・発火性の物に該当するが、本製品は粉末ではないため非該当。 [カーボンブラック]

労働安全衛生法

施行令第18条の2 別表第9 (名称等を通知すべき有害物) 130: <1%: 非適用 [マンガン]

労働安全衛生法

施行令第18条の2 別表第9 (名称等を通知すべき有害物) 550: 適用

施行令別表第3特定化学物質(第2類物質)(マンガンおよびその化合物): 適用

化学物質管理促進法(PRTR 法)

施行令第2条 別表第1(第一種指定化学物質)412(マンガンおよびその化合物): 適用 「シリコン〕

消防法: 本製品は粉体ではないので、非適用

[スズ]

労働安全衛生法

施行令第18条の2 別表第9 (名称等を通知すべき有害物) 322:<1%: 非適用

その他

参考文献 本製品の英文 MSDS(11/09/10) :LECO Corporation

製品安全データシートの作成指針:日本化学工業協会

化学品安全管理データーブック(1996年): 化学工業日報社

化学品安全管理データーブック CD-ROMver.2.0 : 化学工業日報社

労働安全衛生法 MSDS 対象物質全データ : 化学工業日報社

化学物質管理促進法 PRTR・MSDS 対象物質全データ : 化学工業日報社

作成: 平成 13 年 9 月 10 日

改定: 平成 22 年 3 月 1 日 (法令見直し) 平成 23 年 7 月 11 日 (住所変更) 平成 23 年 12 月 14 日 (P/N 追加) 平成 24 年 6 月 18 日(法令見直し)

* 記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、必ずしも 万全なものではなく、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。製品の取扱いに は十分に注意してください。

尚、新たな情報を入手した場合は、追加又は訂正することがあります。